

事務事業評価の概要

1 事務事業評価について

本市では、平成14年度に事務事業評価を実施して以降、事務事業の効果を評価・検証し、積極的に事務事業の見直しを行うことにより、徹底した歳出削減に努め、真に行政が実施すべき分野に資源を集中し、より効率的な行政運営に努めてきました。

本年度からは市政運営や行政改革の状況に応じて、必要性、有効性、効率性などの視点により、評価年度ごとのテーマを設けて事務事業評価を実施するものとし、本年度は、効率性の視点により、民間活力の活用を図るため、「相模原市PPP（公民連携）活用指針に基づく事業実施手法の見直し」をテーマに事務事業評価を実施しました。

(1) 1次評価について

事業所管課が作成した事務事業評価シートをもとに、局区内評価会議が事業の効率化について評価を行いました。

(2) 2次評価について

各局における評価結果について、市の附属機関である相模原市経営評価委員会から第三者の視点で評価をいただきました。

(3) 評価の水平展開

評価結果を水平展開するため、評価対象事業を窓口業務、施設管理業務などに分類し、経営評価委員会から評価を反映する事業の選定及び評価の視点などをお示しいただきました。

2 経営評価委員会の2次評価の結果について

相模原市経営評価委員会による2次評価の結果は、次のとおり1次評価と異なる評価はありませんが、「現状を継続」と評価した事業については、今後大きな制度の変更を予定していることや制度を確立する段階であることから、当面の間の評価としており、制度の変更や確立後には、民間活力の活用を検討するものです。

NO	事業名	1次評価	2次評価
1	国民健康保険 資格窓口等業務	現状を継続	現状を継続
2	児童手当業務	見直し	見直し
3	ケアプラン点検	現状を継続	現状を継続
4	高度処理型浄化槽維持管理業務	見直し	見直し
5	藤野駅周辺駐車場事業	見直し	見直し
6	深堀ポンプ場ほか5施設維持管理委託	見直し	見直し
7	橋本台リサイクルスクエア運営事業	現状を継続	現状を継続
8	史跡田名向原遺跡旧石器時代学習館の管理運営	現状を継続	現状を継続